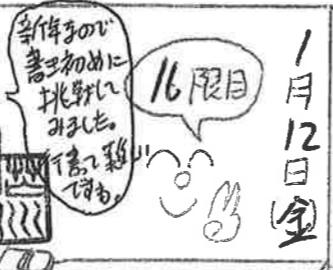


三加和  
中学校  
学校より

# 磨き合ふ



1月  
12日  
金

## 二の年に望むこと…



今年もよろしく  
お願いします!

この一年のスタートを切るに  
あたって生徒た望むこととして

『積極的な人になって欲しい』

といた話をしました。どちらのも、私自身が小さい時から消極的で、人の後ろに隠れながら成長してきて、積極的に動ける人にあこがれ続けていたからです。だから三加和中の生徒には人の前に出たり、目立ったり(なくても、自分の思ふことに対して積極的に動けるような大人になってほしい)と思います。そなた中、今年はいきなり災害の話題から始まってしまいました。数年前の熊本地震や東日本大震災などの時と同様に、『被災者のため、被災地のために何ができるはないか?』と考えている人も多いと思います。当然時間がたつと、そのときの状況は刻々と変わり、救援の方法や求められる支援も変わっていくので、『できるようなら』では時すでに遅しとなってしまいます。私はそういうタブーでした。そなた時、あるボランティアの方から教わった言葉があります、「そのうちに」とちゅうちゅう、「もう誰かがやっているかも」と気後れたりしたときに、自分に言い聞かせている言葉。それは、『今がその時、あなたがその人』です。

今思ひ切て決断しなければ、永遠にその時も、自分の出番もないかもしれません。

世の中の多くのことが『時』がくれば『動きだしますが』、『時』は人を待てばくねないのね。

『だれかがやるだらう』と思ても、その思ふことは動かだされないし、動き出したとしても、自分の中に『自分がやればよかった』といふ後悔が残ります。(しかし、自分

が動きけば『うまくいかなくても、充実感と達成感、自信や経験

が得られます。それが人を成長させてくれるのです。)

返信よろしく  
お願いします



ことを動かすキーワードは、1つたって『あなた』なのです。だからみなさんは、前に出られなくてもいい、めだたなくていい、自分の思ふことにます一歩をふみだせる積極的な人になつてしまいと思う。

## 大人になっていく 君たちへ…

こんなに  
あります  
その1

それでは、積極的に動いてどうな行動?、思います  
エね?そこで、ディズニーランドのあるスタッフの  
エピソードを紹介しますね。今回と次回の  
2回にわけておせておきます。

私が一番うけた  
コロの指導

比田井知孝著者が描いた

ある日、ディズニーランドのインフォメーションにお母さんが元気なさうにやってきました。  
実は今日、子供と一緒に来ました。子供がミッキーかんとか、ミニーチュンとかのキャラクターにサインをしてほしいと言っていたので、サイン帳を持てました。子供は、キャラクターを見つけたは、一人一人にサインを書いてもらっていました。そしてあと少しでサイン帳が全部満たる。というところでのサイン帳を失くしてしまったんです。落とした物で届けられないか、と思って来てみたんですが、ありませんか?」

そのインフォメーションには、サイン帳は届けられていませんでした。そこで、そのスタッフは13人を所に電話をしてみたのですが、どこにも届けられていなかたんです。そこで、そのスタッフは、サイン帳の特徴を詳しく聞いた後、

「1つまでご滞在されますか?」と聞いたそうです。その家族は2日後のお昼には帰らなければならぬかたどうです。スタッフはそれを聞くと、「それでは、この後もう少し探してみますので、2日後、お帰りになる前にもう一度こちらにお寄りいただけますか」とあたそうです。そしてお母さんが帰られた後、そのスタッフは、さらに細かな部署に電話をかけて聞いたり、自分の足で、駐車場や心当たりのある場所を探し回ったそうです。ところがどうしても見つかりませんでした。で、そのスタッフはどうしたかと言うと、

そのサイン帳と同じサイン帳を自分でかて、自分の足で13人を部署をまわって、キャラクターのサインを全部書いてもらって、当日を迎えたそうです。

当日は、お父さんがやつきました。多分ほとんどあきらめていたと思います。スタッフはお父さんに言いました。

「申し訳ござりませんでした。サイン帳は見つけたことはございませんでした。でも、お客様、こちらのサイン帳をお持ち帰りください。お父さんがピックリして中を見ると、キャラクターのサインが全部書いてあるではありませんか?お父さんはもう三人大喜びして、「ありがとうございます!!」と持て帰ったそうです。

……。この話はまだ終わらないです。後日、ディズニーランドにそのお父さんが一通の手紙が届きました。その内容とは… 次号につづく…。